

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

エコライフみしま



第 5 号
2005 / 5 / 1

知っていますか？

市の鳥「かわせみ」市の木「いちよう」市の花「三島桜」



今回のテーマ ●●●自然環境／森林●●●

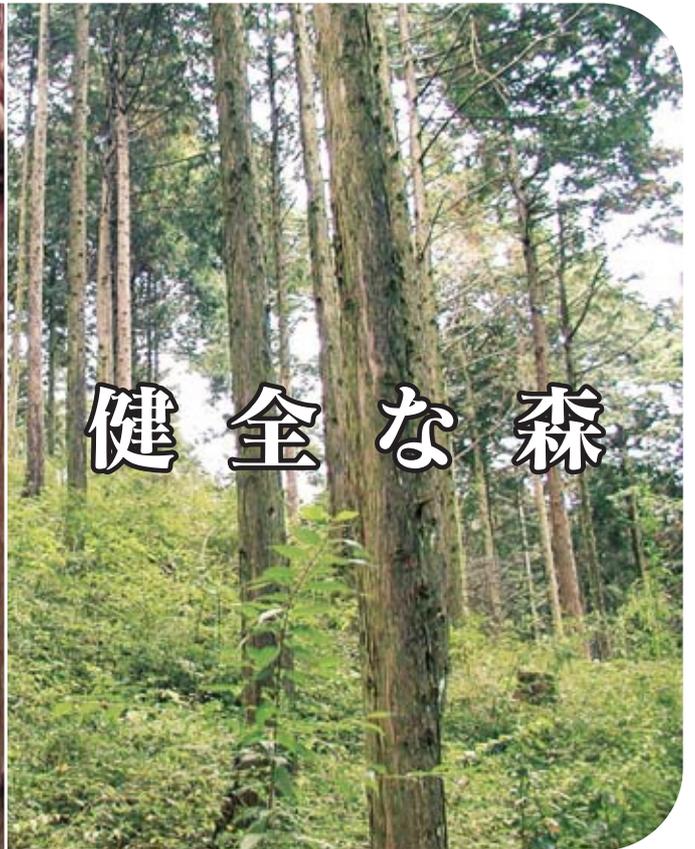
- 現状とクイズ・・・P2、3
- 私たちにできること・・・P4-6
- 環境活動紹介コーナー・・・P7
- 環境情報コーナー・・・P8

地球の未来のために期待される森林

世界各地で異常気象による集中豪雨や洪水、台風、干ばつなどに伴う甚大な被害が発生しています。これまで利便性を追求するあまり、地球環境を破壊してきたことへの地球からの警鐘と受け止めなければなりません。森林には地球温暖化を防止する働きがあります。森林を守り育てるために、私たちにできることはなんのでしょうか？



手入れ不足の森



健全な森

私たちの生活を守る森林

森林の働き

森林にはさまざまな働きがあります。

- ・雨水などを蓄え洪水を防いだり、水をきれいにする。
- ・土砂くずれや土の流出などを防ぐ。
- ・養分を含んだ流水が豊かな海をつくる。
- ・家を風や騒音から守ったり、人の気持ちを落ち着かせたりする。
- ・空気をきれいにするだけでなく、二酸化炭素を吸収したりして、地球温暖化を防ぐ。

日本の森林の現状

◎日本の森林面積（割合）は…？

日本の国土面積は約3,778万9,000haで、その67%（2,514万6,000ha）を森林が占めています。森林を守る法律や制度などによって、森林面積は30年前から、減少することなく、ほとんど同じ数値を維持しています。森林率67%の数値は、世界の中で、日本のように産業が発達している国のうちトップクラスです。

◎日本の森林の主な木の種類は…？

日本の森林の種類を大別すると、次の3種類に分けられます。

- (1)「スギ」、「ヒノキ」などの針葉樹林
- (2)「ケヤキ」、「カシ」などの広葉樹林
- (3)針葉樹や広葉樹が入り混じっている混交林



エコライフ=お江戸でござる
江戸時代の森林・木材・紙は？

森林

幕府は、幕府・朝廷・諸藩直轄の御料林や地方の町村の共有林として、森林の育成（育苗・植樹・下刈・間伐など）を奨励しました。一方、多くの掟や規制を設け、盗伐・火付けには厳罰・重罪に処しました。

木材

お城・神社・仏閣・大名屋敷には銘木の秋田スギや木曾ヒノキを使い、町民の大家・借家では里山の雑木が炊事の薪や、照明のかがり火として、無駄なく活用されました。



三島の誇れる樹木・植物

市の木「イチョウ」は、昭和45年に制定されました。市内ではとりわけ、文教町のイチョウ並木が代表的で、街路樹として両側約800mに及び、百数十本が空高くそびえ、文教都市・三島を象徴しています。その他に…

国の天然記念物 三嶋大社のキンモクセイ

県の天然記念物 駒形諏訪神社（山中新田）

の大カシ、御嶽神社（青木）の親子モッコク

市の天然記念物 願成寺（川原ヶ谷）のクスノキ、耳石神社（幸原町2丁目）のスダジイ、駒形諏訪神社の矢立の杉

三島由来の植物 ミシマザクラ、ミシマバイカモ、ミシマサイコ

などがあります。

紙

高価で貴重品の紙は、幕府（お上）の「お触れ」や「お達し」などの公文書、庶民の障子紙や手紙など、それぞれとても大切に使われました。また古紙は二度三度すき返されて宿紙（再生紙）として使われるのが当たり前でした。

▶「紙漉重宝記」の半紙を漉く図



もっと知ろう森林のこと

森林クイズに挑戦

問1 森林は誰が所有しているの？

- (1) 国 (2) 個人、企業
- (3) 自治体、寺院 (4) 協同所有組織
- (5) (1)~(4)のすべて

問2 日本一の森林の持ち主は？

- (1) 個人、企業 (2) 国 (3) 自治体

問3 三島市の総面積に占める森林の面積（森林率）はどれくらいでしょうか？

- (1) 約30% (2) 約40% (3) 約50%

問4 三島市では森林の何%が人工林でしょうか？…自然の力によって発芽、生育した森林を「天然林」、人の手によって苗木を植えたり、種をまいて育てた森林を「人工林」といいます。

- (1) 40% (2) 60% (3) 70%

問5 三島市の針葉樹林で一番多い樹種は？

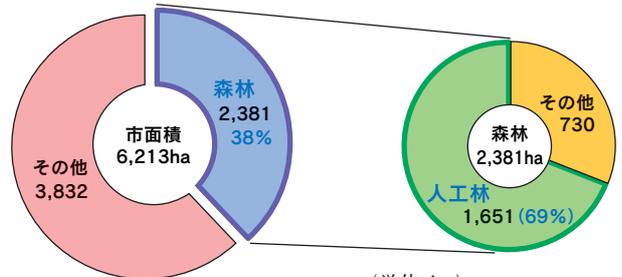
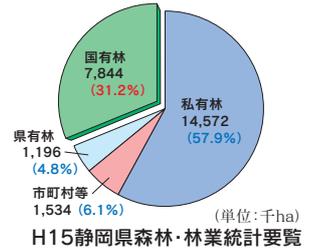
- (1) ヒノキ (2) マツ (3) スギ

問6 私たちが1人1日に使う紙の量は本誌「エコライフみしま」1頁の大きさ（A4）で何枚でしょうか？

- (1) 約2枚 (2) 約85枚 (3) 約170枚

森林の所有には、国が所有する国有林と民有林があり、民有林には都道府県や市町村が所有する公有林、個人・企業の所有する私有林、財産区有林などがあります。そのなかで、国有林は30%以上を占めています。

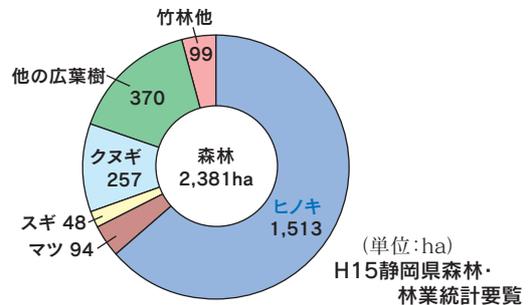
◆日本の森林面積…総面積25,146千ha



H15静岡県森林・林業統計要覧

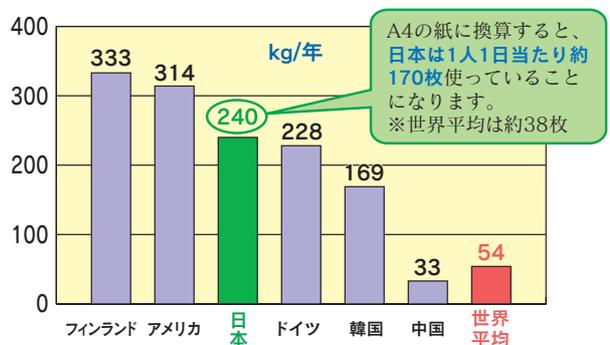
三島市の森林面積は2,381ha（森林率約40%）で、すべて民有林で、その約81%が私有林です。

人が苗木を作り、それを山に植え、世話をしながら、育てられた森林、これが人工林です。三島市では、人工林が約70%を占めており、そのうち「ヒノキ」が約60%以上を占めています。



H15静岡県森林・林業統計要覧

国民1人が使う紙の年間重量 (2002年)



考えてみましょう！

森を守り育てるために、私たちに何ができるのでしょうか？

(答え) 問1 (5) 問2 (2) 問3 (2) 問4 (3) 問5 (1) 問6 (3)

森林が地球の未来にぎる

地球温暖化防止に大きな役割

これまで、樹木は切らないで、できれば原生林のまま保護するのが、地球温暖化防止に大変よいと考えてきませんでしたか？

実は、そうばかりとは言えないようです。

森林は、二酸化炭素（ CO_2 ）を吸収して酸素を生産しながら成長していく過程で、徐々に CO_2 の吸収力が弱まり、そのまま放置しておくとも老木となり、 CO_2 の吸収はほとんどしなくなってしまうます。



老木はやがて枯れ、朽ち果てると分解されて、せっかく蓄えられてきた CO_2 は放出されてしまいます。

森林に地球温暖化防止の働きを効率的に発揮させるためには、 CO_2 を

できるだけ多く吸収させ続けなければなりません。

そのためには、森林を適切に管理し CO_2 を十分吸収した樹木を切り出し、住宅や木製品などの材料としてできるだけ多く、長期間利用するとともに、伐採跡には植林をして再び森林を育成することが最も効果的なのです。

木材は永続的に循環させられる資源

木材の加工に消費されるエネルギーは、アルミニウム、鉄、プラスチックなどに比べ非常に少ないことから、ここでも CO_2 発生の削減に役立っています。木材は、化石資源と違い、適切な管理をすれば、持続的、永続的に循環させることが可能です。

森林が地球温暖化防止に役立つよう、私たちにできることを（例えば森林保護活動や、

CO_2 発生の元になるエネルギー消費量の削減など）積極的に実行し、森林のもつ地球温暖化防止の働きを未来に継承したいものです。

トピックス

「木を植えた男」

このお話は1994年4月22日のアース・デイの日に、英字新聞『インターナショナル・ヘラルド・トリビューン』紙に意見広告として掲載されたものです。

物語は1913年に始まる。ジャン・ジオノはヨーロッパの荒れ果てた山岳地帯を旅していた。乾ききった大地に容赦なく吹き荒れる風。住む人がいながら、ほとんど死の土地と化しているような場所だ。ジオノはその土地に再び生命を与えるため、黙々と木を植え続ける一人の羊飼いに会う。男の名はエルゼアル・ブーフイエ。年は55歳。彼はそれまでの3年

間ですでに10万本のカシの木を植えていた。10万本のうち2万本が芽を吹き、さらにその半分はうさぎやねずみたちのえさになり、結局1万本の木が育つだろうと考えていた。「もしも神のご加護があって長生きできたとすれば、30年後にはこの1万本よりもうんとたくさんの木を植えられるはずだ。その時には、この1万本は大海の1滴の水にすぎなくなるだろう」と。

私が再びその土地を訪れたのは7年後。彼は相変わらず元気に木を植えていた。そしてなんと、彼が1910年に植えた最初のカシの木は我々よりも背が高く立派な木立になっていた。

長さ11キロ、幅3キロにも及び、それが3カ所も。

学校でも取り組んでいます

～間伐材を生かした授業～

今回は三島市環境ISO認定校第1号の北上中学校の取り組みをレポートしてきました。北上中では選択授業のなかで間伐材などを利用したベンチを作っています。完成した木製ベンチは校内や保育園、箱根旧街道沿いにも置いて活用してもらっています。

キャッチフレーズは 「地球にやさしい北上中」

北上中学校では、7つの目標を立て、学校全体で地球にやさしい行動を実践しています。

- ①水を大切に使う
- ②電気を有効に使う
- ③ごみを減らす
- ④ものを大切に使う
- ⑤アルミ缶回収や、エコマークを使う
- ⑥校内外の美化に努める
- ⑦環境について学習会を行う

まず、キャッチフレーズとイメージキャラクターを全生徒から募集しました。そして生徒自ら「芽生ちゃん度チェック」で行動を^{めばえ}チェックし、学校全体で集計しています。その行動結果をもとに、仕組みを見直したり、「生徒会だより」で広報したりするなど、活



▲生徒たちが間伐材から作ったベンチ

動の継続と意識向上を図っています。園芸委員会が中心になっての花壇づくり、総合学習で水質を調べたり、ごみを拾ったりする河川美化活動なども実践されています。また、目標の1つである「ものを大切に使う」の活動では、16年度から再利用紙と不用紙の分別のほか、「きれっぱしボックス」も置き、小さな紙も回収するようにしています。紙は木を原料に作られているので、紙を大切にすることは木や森を守ること、さらには水

を大切にすることにつながります。いつかごみ箱が空っぽになって、すべてのごみが資源になる日がくるといいですね。学校での活動が生かされ、家でも新聞広告の裏面をメモに使ったり、電気をこまめに消すなど、家族と協力して小さな環境活動の輪が広がっています。「活動をやらされている」ということではなく、今後も学習会を開いたり、市の「環境リーダー研修」や「森の小さなダムづくり」などにも積極的に参加して生徒一人ひとりが意識を高め、実践活動のステップアップを目指したいと力強く語ってくれました。

将来、生徒の一人ひとりが、中学校での活動をきっかけに、「地球にやさしい北上中」の生徒から「地球にやさしい大人」、「人にやさしい大人」になっていることでしょう。



▲取材に協力してくれた左から岡本まりさん、谷川貴洋さん、田子雄大さん

かつて緑など影も形もなかった土地に、今では若い木々がしっかりと根つき、勢いよく空に向かって伸びている。しかも木立の力で、過去何万年も干上がっていた小川に水が蘇っているのだ。ブーフイエはたった1人の力で神の仕業にも値する大事をやったのけたのだ。その後もブーフイエは誰にも気づかれることなく、淡々と作業を続けた。

1923年、森の監視員が来てこの天然の森林の生長を守るために、外で火を燃やすなど命令していった。彼は無邪気に言った。「森林がひとりでに生長するなんてことを聞いたのは初めてだ」と。

1935年、全森林が州の保護区に指定された。以後20年足らずで地域一帯は完璧に復活し繁栄に満ちて

いた。花が咲き川が流れる豊かなこの土地に多くの人々が移り住み、若さや活気をもたらした。それはすべてブーフイエ1人の手によってもたらされたのである。1947年彼は安らかに生涯の幕を閉じた。

たった1人の人間の口から語られた森林計画は壮大なものでした。大自然を相手にして、人間はこれほどまでに不屈の精神を持てるものでしょうか。

ブーフイエという人の偉大な精神力と忍耐力を思い知らされた多くのヨーロッパ人たちは、感動の涙を流し、彼に心からの拍手を送ったのです。

(出典：「地球は今…第3巻 消えゆく森林」)

家庭でも取り組んでいます

～賢い緑の増やし方～

眺望の素晴らしい屋上緑化

増田ま佐子さん（富士ビレッジ）

「広報みしま」を見て「屋上・壁面緑化補助金」制度を知り、2階建ての屋上に庭園を造りました。

ソーラーシステムもいいと思いましたが、屋上からの眺めが捨てられなくて屋上緑化にしました。

屋上緑化にしてから、冬は暖かく、昨夏の猛暑でも余り冷房を使わないで済み、冷暖房費の節約になっています。屋上緑化は大きな木や根の張るものは植えられませんが、風の様子を見ながら植えるものを



▲空中庭園のような増田さん宅の屋上

考えるのも楽しみの1つです。

屋上からは三島の街がよく見え、夏の大文字焼き、沼津や伊豆長岡の花火もとてもよく見えます。

サザンカの生け垣

木下和樹さん（徳倉2丁目）

平成16年3月に、三島市の「生け垣づくり苗木無償交付制度」を利用して、サザンカの苗木を生け垣として植えました。

生け垣は、家の周りをフェンスで囲むより花や緑があった方が気持ち豊かになり、子どもたちの情操にもよいと思って作りました。生け垣のくい、竹、シュ



▲鮮やかに咲き誇る木下さん宅の生け垣

ロ縄を購入し、会社勤めをしながら知り合いと3人で一週間ぐらいかけて作りました。

サザンカは倍近くに背丈が伸び、道行く人が「あっ、サザンカが咲いたね」と話しながら足を止めてくれます。

今では、よそのお宅のサザンカを見る目も変わってきました。

楽しむ生け垣づくり

永井晃さん（徳倉2丁目）

知人の紹介、「広報みしま」を見て生け垣用苗木や記念樹の無料交付のことで知りました。環境保全にもいいと思い、今から約2年前に申請し「レッドロビン」の木を交付してもらいました。生け垣も仲間の手助けを得て作りました。

この木は、日当たりを好み、成長が早いため頻繁にせん定してやっています。形を整えていくのも楽しみの1つです。また、四季折々に楽しめるのも特徴です。

市から交付される苗木には数種類あり、各家庭で特徴ある庭づくりをするには適していると思います。街

づくりに、そして環境づくりに、生け垣づくりをお勧めします。みんなで素敵な街づくりに挑戦してみませんか？



▲手入れの行き届いた永井さん宅の生け垣

いつもMyはしを持参しましょう

割り箸は、約9割が中国からの輸入材からつくられています。

そして毎年250億膳使われ、捨てられています。外出には、はし箱などに入れてMyはしを持参しましょう。余った布などで、はし袋などを作ってもいいかも

しれませんね。





環境活動紹介コーナー



地域では こんな活動をしています

佐野小学校「ホタルが飛ぶ川をきっかけに…」

ホタルをきっかけに、児童の自発的な活動が芽生え始めた佐野小学校の取り組みを紹介します。

平成13年度、当時小学校3年生の「庭にホタルが飛ぶよ。」の声でホタルを飼育することになりました。三島ゆうすい会の塚田冷子会長の協力で幼虫を分けても



▲ホタル発見！子どもたちが育てた幼虫が立派な成虫に

らい、水槽ビオトープを作りました。ホタルの幼虫を水槽の中で育て、クラスみんなはえさとなるカワニナを採ってきて、1年かけて育てたホタルの幼虫は、

翌年には数匹飛ぶようになりました。

平成16年度は、初めて自分たちで幼虫から育てました。幼虫は体長1～2ミリと小さいのに食欲旺盛です。1カ月にカワニナを200匹以上食べるほどです。飼育のかいあって見事に5匹程水槽の中からホタルが飛ぶのを確認できました。

また、6月の夜2日間続けて、自生するホタルの見学に学校から40分程の大場川の上流に向けて出かけました。自生する場所はどんなところかを観察するため、昼間にも出かけました。そこは大きな木の下に水が湧き、沢ガニが歩き、山肌からはポタポタ水が落ちているようなきれいな水の宝庫でした。行く途中、川にカビが生えたパンが流されてきて、それを見た子どもたちは悲鳴をあげていましたが、ホタルを守りたいと帰り道にはみんなでごみを拾いながら歩いてきました。なんとごみ袋で3袋もありました。

学校では1～6年の縦割りのグループを作り、学校周辺の川の清掃活動もしています。一時期学校周辺の川の下流では見られなくなったホタルが今では復活。ホタルの飛び交う川をめざして……。

わたしのWAZA(技)

丈夫な体で仕事とボランティアを！

環境活動の「技(=技術)」をリレー方式で紹介しています。今回はビオトープづくりや「ゆうすい匠の会」の作業に取り組んでいる、加茂川町の広川敏雄さんに編集スタッフがお話を伺いました。

——こんにちは。これまでに多くのビオトープづくりにボランティアとして参加されていますが、どういう思いで取り組んでいらっしゃるのですか？

仕事してお金を残すことよりも、子どもたちに美しい自然、水、緑などを残したいという強い気持ちから活動しています。

——ビオトープはいくつ作られましたか？

中郷小学校、長伏小学校、県立南高校、現在は函南

▶保育園でビオトープづくり



広川敏雄さん(加茂川町)

町のさくら保育園と4つです。

——お仕事(建設業)とボランティア活動とのかね合いはどうされていますか？

ボランティアをしていると余裕があると言われるのですが、仕事は借金を作らないことをモットーにし、仕事とボランティアを並行して行っています。

——他に消防団員としてもご活躍ですが、ご家族の反応はいかがですか？

休みの日も家族は音楽会、私はボランティアとバラバラな日が多いですね。家族サービスは消防団の慰安旅行ぐらいしかできませんが、家族が一番の理解者です。

(感想) お宅にお電話すると「父はボランティアに出かけました」とお嬢さんの返事が返ってきました。外食はあまりされないという広川さんの健康は奥様の手料理で保たれているのだと思いました。

■「わたしのWAZA(技)」募集！

個人(家庭)や団体で実践している情報を編集事務局までお寄せください。



環境情報コーナー



箱根西坂いきいき森づくり

地球環境問題が深刻化する今日、自ら環境のことを考え、行動する環境ボランティアの活動が大切です。三島市では、箱根西麓に広がる森林を、森づくりの活動と交流の場としての活用を図ろうと、「箱根西坂いきいき森づくり」を昨年度初めて開催しました。



▲ノコギリによる間伐体験

このイベントは、三島フォレストクラブの協力で3日間に渡って実施され、65人の参加者は間伐体験などを通して森林整備の重要性を考えました。

皆さんも参加して、森づくりの重要性を感じてみませんか？

森づくりに参加しよう。

内容 せせらぎコース見学／森林教室／間伐／森の小さなダムづくり／基調講演／竹炭づくり・竹クラフトなど



▲間伐材を利用した「森の小さなダムづくり」

間伐材を生かした環境学習教材

三島市では、保育士と幼稚園教諭からなるプロジェクトチームを結成して、環境教育教材の作成や活用方法などを研究しています。箱根西麓の間伐材を使った、環境カルタや絵合わせゲームなどを手作りしました。



▲間伐材を利用した「絵合わせ」ゲーム

新たにエコパートナーに認定された皆さん

世古優子さん(多呂)、一圓智代さん(東大場)、右原裕子さん(東大場)、近藤みどりさん(多呂)、保谷久美子さん(大場)、田中律さん(多呂)、杉本美奈子さん(東大場)、棚井幸代さん(東大場)、山本朋子さん(大場)、相川明実さん(多呂)、半田江利子さん(大場)、福田未土理さん(大場)、石野田友子さん(東大場)、杉山慶子さん(大場)、鈴木康彦さん(大場)、鈴木恵子さん(大場)、山口美帆さん(東大場)、溝上 由美さん(大場)、松元博子さん(加茂)、武士貞子さん(竹倉)、小川純子さん(東大場)、石田富美子さん(東大場)、平賀芳江さん(若松町)、上野真太郎さん(中田町)、青木孝之さん(中田町)、榎本治子さん(平田)、平田正治さん(南田町)、芹澤留美さん(南田町)、市川敏之さん(玉川)、斎藤静江さん(下土狩)、鈴木伊津美さん(夏梅木)、田村恵津子さん(光ヶ丘)、長野清子さん(幸原町)、多田友子さん(大宮町)、丸山京子さん(三ツ谷新田)

アンケートにご協力を編集事務局まで電話、メール、FAXなどで



- 1 第5号はいかがでしたか？
よかった ふつう
よくわからなかった
- 2 興味を持った記事は何ですか？
クイズ 私たちにできること
活動紹介 環境情報
- 3 今後希望するテーマは何ですか？
 ※ 今まで取り扱ったテーマ…
 ごみ、水、地球温暖化、食、森林

【編集後記】



市の木がイチョウであることを皆さんご存知でしたか？そこで少し調べてみました。イチョウ科の落葉高木。中国が原産、葉は扇形で、秋には黄葉する雌雄異株。種子はギンナン(銀杏)と呼び、食用。花言葉は「長寿」だそうです。「防火・防風に役立つか火伏や銀杏」と昔から呼ばれているそうです。樹木や植物を育てて胸いっぱい酸素を吸いましょう。(か)

編集スタッフ：飯田喜一・石橋幹人・大村洋子・河嶋禧男・佐伯忠夫
 重間良子・鈴木忠宣・高橋由美子・永嶋章吉

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/>(広報みしまと一緒に掲載中)

第5号(5月・10月の年2回発行)

平成17年5月1日発行

〒411-8666 静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館

環境企画課環境政策室内

「エコライフみしま」編集事務局

TEL: 055-983-2647

FAX: 055-976-8728

E-mail: kankyoku@city.mishima.shizuoka.jp

古紙配合率100%再生紙を使用しています。
 この再生紙も、さらに再生可能な資源古紙です。